

# 家庭 (家庭基礎)

| 発<br>行<br>者  | 教科書の記号・番号    | 判型  | ページ数 | 検定済年   |
|--------------|--------------|-----|------|--------|
| 番号 名 称 略 称   |              |     |      |        |
| 2 東京書籍 東書    | 家基 002-901   | A B | 238  | 令和 7 年 |
| 6 教育図書 教図    | 家基 006-901 ◆ | A B | 242  | 令和 7 年 |
| 6 教育図書 教図    | 家基 006-902 ◆ | B 5 | 250  | 令和 7 年 |
| 6 教育図書 教図    | 家基 006-903 ◆ | A B | 228  | 令和 7 年 |
| 7 実教出版 実教    | 家基 007-901 ◆ | A B | 266  | 令和 7 年 |
| 7 実教出版 実教    | 家基 007-902 ◆ | B 5 | 214  | 令和 7 年 |
| 7 実教出版 実教    | 家基 007-903 ◆ | A B | 250  | 令和 7 年 |
| 9 開隆堂出版 開隆堂  | 家基 009-901   | A B | 234  | 令和 7 年 |
| 50 大修館書店 大修館 | 家基 050-901   | A 4 | 274  | 令和 7 年 |
| 50 大修館書店 大修館 | 家基 050-902   | A B | 274  | 令和 7 年 |
| 50 大修館書店 大修館 | 家基 050-903   | A B | 258  | 令和 7 年 |
| 183 第一学習社 第一 | 家基 183-901   | A B | 248  | 令和 7 年 |
| 183 第一学習社 第一 | 家基 710       | A B | 228  | 令和 3 年 |

※「教科書の記号・番号」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示す。

## 1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者及び教科書の番号

| 家庭基礎          |                                                                                                                                                      | 冊 数 | 13冊 |
|---------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-----|
| 発行者の略称・教科書の番号 | 東書 002-901 教図 006-901 教図 006-902 教図 006-903 実教 007-901<br>実教 007-902 実教 007-903 開隆堂 009-901 大修館 050-901 大修館 050-902<br>大修館 050-903 第一 183-901 第一 710 |     |     |

## 2 学習指導要領における教科・科目の目標等

### 【家庭の目標】

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- (2) 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。
- (3) 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

### 【家庭基礎の目標】

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- (2) 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。
- (3) 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

### 【家庭基礎の内容及び内容の取扱い】

| 「内 容」の 概 要                                                                                          | 「内容の取扱い」抜粋                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| A 人の一生と家族・家庭及び福祉<br>(1) 生涯の生活設計<br>(2) 青年期の自立と家族・家庭<br>(3) 子供の生活と保育<br>(4) 高齢期の生活と福祉<br>(5) 共生社会と福祉 | ア 内容のAからCまでについては、生活の科学的な理解を深めるための実践的・体験的な学習活動を充実するとともに、生活の中から問題を見だしその課題を解決する過程を重視すること。また、現在を起点に将来を見通したり、自己や家族を起点に地域や社会へ視野を広げたりして、生活を時間的・空間的な視点から捉えることができるよう指導を工夫すること。<br>イ 内容のAの(1)については、人の一生を生涯発達の視点で捉え、各ライフステージの特徴などに関連を図ることができるよう、この科目の学習の導入として扱うこと。また、AからCまでの内容と関連付けるとともにこの科目のまとめとしても扱うこと。 |

| 「内容」の概要                                                                                                                                                                 | 「内容の取扱い」抜粋                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| B 衣食住の生活の自立と設計<br>(1) 食生活と健康<br>(2) 衣生活と健康<br>(3) 住生活と住環境<br><br>C 持続可能な消費生活・環境<br>(1) 生活における経済の計画<br>(2) 消費行動と意思決定<br>(3) 持続可能なライフスタイルと環境<br><br>D ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動 | ウ 内容のAの(3)及び(4)については、学校や地域の実態等に応じて、学校家庭クラブ活動などとの関連を図り、乳幼児や高齢者との触れ合いや交流などの実践的な活動を取り入れるよう努めること。<br>エ 内容のBについては、実験・実習を中心とした指導を行うこと。なお、(1)については、栄養、食品、調理及び食品衛生との関連を図って扱うようにすること。また、調理実習については食物アレルギーにも配慮すること。<br>オ 内容のCの指導に当たっては、A及びBの内容と相互に関連を図ることができるよう工夫すること。<br>カ 内容のDの指導に当たっては、AからCまでの学習の発展として実践的な活動を家庭や地域などで行うこと。 |

### 3 教科書の調査研究

#### (1) 内容

##### ア 調査研究の総括表

| 調査項目                                        | 対象の根拠（目標等との関連）                   |
|---------------------------------------------|----------------------------------|
| a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通） | 学習指導要領第2章第9節第3款1(1)              |
| b 実践的・体験的な学習活動                              | 学習指導要領第2章第9節第1款、第3款1(2)          |
| その他の項目（各教科共通）                               | 学習指導要領総則、東京都教育委員会の基本方針、東京都教育ビジョン |

##### イ 調査項目の具体的な内容

###### ① 調査項目の具体的な内容の対象とした事項

調査研究事項のa、b及びその他の項目との関連で、次の事項について具体的に調査研究する。

- a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成(各教科共通)
  - ・ 各単元において、資質・能力の育成に関わる内容を見取る
- b 実践的・体験的な学習活動
  - ・ 各単元において、実践的・体験的な学習活動に関わる内容を見取る

《その他の項目》(各教科共通)

- ・ 我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫
- ・ 人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫
- ・ 安全・防災や自然災害の扱い
- ・ オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫
- ・ 固定的な性別役割分担意識に関する記述等

###### ② 調査対象事項を設定した理由等

- a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成(各教科共通)
  - ・ 学習指導要領の中で、「単元など内容や時間のまとまりを通して、その中で育む資質・能力の育成」について言及されているため、家庭基礎では、各単元において、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして解決策を構想し、実践を評価・改善して、新たな課題の解決に向かう過程を重視した学習について、どのように扱われているかという視点で質的に調査する。
- b 実践的・体験的な学習活動
  - ・ 学習指導要領に、「各科目に配当する総授業時数のうち、原則として10分の5以上を実験・実

習に配当すること」とあることから、各単元において、実験・実習の題材について、どのように扱われているかという視点で質的に調査する。

《その他の項目》(各教科共通)

- ・ 我が国の領域をめぐる問題及び国旗・国歌の取り扱いについては、学習指導要領総則に基づき、これらの問題を正しく理解できるようにするため、その扱いについて調査する。
- ・ 北朝鮮による拉致問題については、東京都教育委員会の基本方針1に基づき、人権尊重の理念を正しく理解できるようにするため、その扱いについて調査する。
- ・ 東京都では、自然災害時における被害を最小化し、首都機能の迅速な復旧を図る総合的なリスクマネジメント方策の確立が喫緊の課題であり、防災教育の普及等により地域の防災力の向上が重要であることから、防災や自然災害の扱いについて調査する。
- ・ 東京都教育委員会の基本方針2・3に基づき、文化・スポーツに親しみ、国際社会に貢献できる日本人を育成するという観点から、オリンピック・パラリンピックの扱いについて調査する。
- ・ 東京都教育委員会の基本方針1及び東京都の男女平等参画推進の施策を踏まえ、固定的な性別役割分担意識の解消や、「無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)」に気付いて言動等を見直していくなど、男女の平等を重んずる態度を養うことができるよう、その扱いについて調査する。

(2) 構成上の工夫(各教科共通)

- ・ デジタルコンテンツの扱い
- ・ ユニバーサルデザインの視点

|     |      |
|-----|------|
| 教科名 | 家庭   |
| 科目名 | 家庭基礎 |

|                                               |                                                                                                                                                                                                           |               |
|-----------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|
| 発行者（略称）                                       |                                                                                                                                                                                                           | 東書            |
| 教科書番号                                         |                                                                                                                                                                                                           | 家基002-901     |
| 教科書名                                          |                                                                                                                                                                                                           | 家庭基礎 自立・共生・創造 |
| (1) 内容                                        |                                                                                                                                                                                                           |               |
| a 「単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）」 |                                                                                                                                                                                                           |               |
| 【人の一生と家族・家庭及び福祉】                              | ・青年期の自立と家族・家庭の節で、生涯にわたる生活設計をするワークが設けられており、特に、経済的な視点でライフプランを見直すことを通して生活の課題を解決する力が養われるよう工夫されている。<br>・子供の生活と保育の節で保育体験を取り上げている。保育体験後の振り返りを通して継続的に地域の子供や子育て家庭と交流できるような構成になっている。                                |               |
| 【衣食住の生活の自立と設計】                                | ・食生活と健康の節で、調理実習の手順を取り上げている。調理後の評価・反省を通して、料理の改善点や栄養価について評価できるような構成になっている。<br>・衣食住の生活の自立と設計の単元で、衣食住とライフステージの関わりを考える課題が設定されている。特に、被災地で生活する知人に支援物資を送ることを想定し、自分の生活を振り返り課題を把握する活動を通して生活の課題を解決する力が養われるよう工夫されている。 |               |
| 【持続可能な消費生活・環境】                                | ・生活における経済の計画の節では、生涯の生活設計を見直すワークが設けられている。特に、公的な支援や、生涯の大きな出費、不測に備えた保険をライフプランに追加することで、経済的な課題把握を通して生活の課題を解決する力が養われるよう工夫されている。                                                                                 |               |
| 【ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動】                         | ・ホームプロジェクトと学校家庭クラブの単元で、全国大会発表作品の詳細資料を取り上げている。家庭内の課題を発見し、解決に向けて計画、実践、中間評価、再実践、評価、というPDCAサイクルを通して生活の課題を解決する力が養われるよう工夫されている。                                                                                 |               |
| b 実践的・体験的な学習活動                                |                                                                                                                                                                                                           |               |
| 【人の一生と家族・家庭及び福祉】                              | ・青年期の自立と家族・家庭の節で、ワーク・ライフ・バランスについて調べ、話し合うワークが設けられており、主体的に家庭生活を創造する資質・能力が育成されるよう工夫されている。<br>・高齢期の生活と福祉の節で、インタビュー・体験の項目が設けられており、特に、シニア体験を通して実践的・体験的学習が行われるよう工夫されている。                                         |               |
| 【衣食住の生活の自立と設計】                                | ・食生活と健康の節で、実験・実習の項目が設けられており、特に、小麦粉のグルテンの生成量を確認する実験など、食品の調理性や様々な食文化を考えた献立作成、調理を通して実践的・体験的学習が行われるよう工夫されている。<br>・衣生活と健康の節で、様々な実験・実習の項目が設けられており、特に、界面活性剤の働き、染み抜きなどを通して科学的に衣服を管理することができるよう工夫されている。             |               |
| 【持続可能な消費生活・環境】                                | ・消費生活と意志行動の節で、悪質商法によるトラブルへの対応が取り上げられている。特に、ロールプレイングなどを通して、実際にトラブルが起きた場合の具体的な対応方法を学ぶことができるような構成になっている。<br>・持続可能なライフスタイルと環境の節では、ホームプロジェクトとSDGsとの関連が取り上げられており、自己の生活とSDGsの関わりが具体的に理解できるような構成になっている。           |               |
| 【ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動】                         | ・具体的に示された学習の進め方の解説や、各章末に設けられた「テーマが探せるチャート式」の活用を通して、実践的・体験的な学習が行えるよう工夫されている。                                                                                                                               |               |
| 《その他の項目》（各教科共通）                               |                                                                                                                                                                                                           |               |
| 我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫    | ・衣食住の生活の自立と設計<br>「食生活の文化と知恵」<br>「衣生活の文化と知恵」<br>「住生活の文化と知恵」                                                                                                                                                |               |
| 人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫               | ・人の一生と家族及び福祉<br>「ドメスティック・バイオレンス」<br>「児童虐待と社会的孤立」                                                                                                                                                          |               |
| 安全・防災や自然災害の扱い                                 | ・人の一生と家族及び福祉<br>「地域の防災意識を高めよう」<br>・衣食住の生活の自立と設計<br>「住居の防災」<br>「見直そう我が家の災害対策」<br>「衣食住とライフステージの関わりを考えよう」                                                                                                    |               |
| オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫                       | 記載なし                                                                                                                                                                                                      |               |
| 固定的な性別役割分担意識に関する記述等                           | ・人の一生と家族及び福祉<br>「見直される性別役割分業意識」<br>「男女共同参画の実現」                                                                                                                                                            |               |
| (2) 構成上の工夫                                    |                                                                                                                                                                                                           |               |
| デジタルコンテンツの扱い                                  | ・動画やシミュレーション、ウェブサイトなどのデジタルコンテンツを活用して効果的に学習できるよう二次元コードを掲載している。                                                                                                                                             |               |
| ユニバーサルデザインの視点                                 | ・見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントが採用されている。<br>・色覚特性を有する生徒への配慮を含む、ユニバーサルデザインになっている。                                                                                                                              |               |

|     |      |
|-----|------|
| 教科名 | 家庭   |
| 科目名 | 家庭基礎 |

| 発行者（略称）                                       |                                            | 教図                                                                                                                                                                                                                                   |
|-----------------------------------------------|--------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 教科書番号                                         |                                            | 家基006-901◆                                                                                                                                                                                                                           |
| 教科書名                                          |                                            | ウェルビーイングにつなぐ 家庭基礎                                                                                                                                                                                                                    |
| (1) 内容                                        |                                            |                                                                                                                                                                                                                                      |
| a 「単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）」 |                                            |                                                                                                                                                                                                                                      |
|                                               | 【人の一生と家族・家庭及び福祉】                           | ・青年期の自立と家族・家庭の節で、生活の課題を発見するワークが設けられており、特に、高校生の一日を例に挙げ生活の課題を発見し、解決するためPDSサイクルの活用を通して、自己の生活の課題を解決する力が養われるよう工夫されている。<br>・青年期の自立と家族・家庭の節で、ライフプランを設計するワークが設けられている。特に、人との関わり、衣食住、お金などについて具体的に考えることで生活の課題を見付け、どのように解決するか考える力が養われるよう工夫されている。 |
|                                               | 【衣食住の生活の自立と設計】                             | ・食生活と健康の節で、自分の食生活を振り返るチェックリストが設けられている。特に、生活の振り返り、見直しを通して、食生活の課題を設定し、解決に向けて生活を科学的に探究したり、創造したりすることができるような構成になっている。                                                                                                                     |
|                                               | 【持続可能な消費生活・環境】                             | ・生活における経済の計画の節で、キャッシュレスや資産形成のワークを通して、ライフステージと関連付けて考え、将来に向けた選択肢について話し合ったりまとめたりすることで生活を構想する力が養われるよう工夫されている。                                                                                                                            |
|                                               | 【ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動】                      | ・ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動の単元で、全国家庭クラブ研究発表大会に出場した作品の詳細資料が取り上げられている。家庭内の課題を発見し、解決に向けて計画、実践、中間評価、再実践、評価、というPDSサイクルを通して生活の課題を解決する力が養われる方法を具体的に示し、生徒が主体的に自己の課題の設定や解決方法を導き出せるよう工夫されている。                                                         |
| b 実践的・体験的な学習活動                                |                                            |                                                                                                                                                                                                                                      |
|                                               | 【人の一生と家族・家庭及び福祉】                           | ・子供の生活と保育の節で、充実した実習やロールプレイが設けられており、特に、保育実習を通して、主体的に乳幼児に関わり家庭や地域の生活を創造する資質・能力が育成されるよう工夫されている。<br>・高齢期の生活と福祉の節で、高齢者の介助体験やロールプレイが設定されている。特に、高齢者の介助体験を通して主体的に地域の高齢者や福祉に携わる意識を育成するような構成になっている。                                            |
|                                               | 【衣食住の生活の自立と設計】                             | ・食生活と健康の節で、充実した実習の項目が設けられており、特に、調理実習では食文化の継承、日本で多く食べられている外国の調理、栄養バランスを考慮した献立などを通して実践的・体験的学習が行われるよう工夫されている。<br>・衣生活と健康の節で、充実した実験・調査が設けられている。特に、衣服の多様性について考えるワークを通して、衣服の科学的な性能を理解し、性別にとらわれない衣服の着方を主体的に考えられるような構成になっている。                |
|                                               | 【持続可能な消費生活・環境】                             | ・生活における経済の計画の節で、経済の管理や計画の重要性について取り上げている。特に、キャッシュレスや資産形成のワークを通して、ライフステージと関連付けて考えられるような構成になっている。<br>・持続可能なライフスタイルと環境の節で、Think globallyが取り上げられている。特に、地球規模で起きている身近な環境課題を考えるワークを通して生活と環境の関わりや持続可能な消費について理解することができるような構成になっている。            |
|                                               | 【ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動】                      | ・家庭内の課題を発見し、解決に向けて計画、実践、中間評価、再実践、評価、というPDSサイクルを通して生活の課題を解決する力が養われる方法を具体的に示すことで、実践的・体験的な学習が行えるよう工夫されている。                                                                                                                              |
| 《その他の項目》（各教科共通）                               |                                            |                                                                                                                                                                                                                                      |
|                                               | 我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫 | ・衣食住の生活の自立と設計<br>「食文化を継承しよう」<br>「日本の古い住まいの知恵を受け継ごう」                                                                                                                                                                                  |
|                                               | 人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫            | ・人の一生と家族及び福祉<br>「気をつけたい恋人との関係」<br>「児童虐待とは」                                                                                                                                                                                           |
|                                               | 安全・防災や自然災害の扱い                              | ・衣食住の生活の自立と設計<br>「災害時に備えて備蓄しておこう」<br>「災害への備え」<br>・ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動<br>「今こそ本気で取り組もう！～西高防災対策プロジェクト～」                                                                                                                                |
|                                               | オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫                    | 記載なし                                                                                                                                                                                                                                 |
|                                               | 固定的な性別役割分担意識に関する記述等                        | ・人の一生と家族及び福祉<br>「性別役割分業意識の変化と現状」                                                                                                                                                                                                     |
| (2) 構成上の工夫                                    |                                            |                                                                                                                                                                                                                                      |
|                                               | デジタルコンテンツの扱い                               | ・動画やウェブサイト、関連資料、振り返りテスト、ワークシートなどのデジタルコンテンツを活用して効果的に学習できるよう二次元コードを掲載している。                                                                                                                                                             |
|                                               | ユニバーサルデザインの視点                              | ・色覚特性を有する生徒への配慮を含む、ユニバーサルデザインになっている。                                                                                                                                                                                                 |

|     |      |
|-----|------|
| 教科名 | 家庭   |
| 科目名 | 家庭基礎 |

|                                              |                                                                                                                                                                                                           |
|----------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 発行者（略称）                                      | 教図                                                                                                                                                                                                        |
| 教科書番号                                        | 家基006-902◆                                                                                                                                                                                                |
| 教科書名                                         | 家庭基礎 つながる暮らし共に創る未来 新訂版                                                                                                                                                                                    |
| (1) 内容                                       |                                                                                                                                                                                                           |
| a「単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）」 |                                                                                                                                                                                                           |
| 【人の一生と家族・家庭及び福祉】                             | ・青年期の自立と家族・家庭の節で、生活の課題を発見するワークが設けられており、特に、高校生の一日を例に挙げ生活の課題を発見し、解決するためPDSサイクルの活用を通して、自己の生活の課題を解決する力が養われるよう工夫されている。                                                                                         |
| 【衣食住の生活の自立と設計】                               | ・住生活の科学と文化の節で、高校の跡地の利用を考えるワークが設けられており、跡地と建物を有効利用するケーススタディを通して、持続可能な住環境を構想する力が養われるよう工夫されている。                                                                                                               |
| 【持続可能な消費生活・環境】                               | ・持続可能なライフスタイルと環境の節で、家計の金融資産のワークが設けられている。資産形成の方法や制度を比較・考察し、まとめることで、課題を解決する力が養われるよう工夫されている。                                                                                                                 |
| 【ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動】                        | ・ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動の単元で、全国家庭クラブ研究発表大会に出場した作品の詳細資料が取り上げている。家庭内の課題を発見し、解決に向けて計画、実践、中間評価、再実践、評価、というPDSサイクルを通して生活の課題を解決する力が養われる方法を具体的に示し、生徒が主体的に自己の課題の設定や解決方法を探き出せるよう工夫されている。                                |
| b 実践的・体験的な学習活動                               |                                                                                                                                                                                                           |
| 【人の一生と家族・家庭及び福祉】                             | ・高齢期の生活と福祉の節で、高齢者の介助体験やロールプレイが設定されている。特に、高齢者疑似体験を通して高齢期の心身の特徴、高齢者の自立生活への支援について理解できるよう構成になっている。<br>・共生社会と福祉の節で、ボランティア活動について取り上げている。特に、高校生が参加しているボランティア活動を示すことで、地域社会の一員としての自覚をもって支え合う重要性について考察できるよう工夫されている。 |
| 【衣食住の生活の自立と設計】                               | ・食生活と健康の節で、充実した実習の項目が設けられており、特に、調理実習では栄養バランスを考慮した主菜・副菜の献立や調理実験を通して実践的・体験的な学習が行われるよう工夫されている。<br>・住生活と健康の節で、防災や安全や環境に配慮した住居について取り上げられている。特に、近隣への音に配慮するワークでは住居と地域社会の関わりについて考察できるよう工夫されている。                   |
| 【持続可能な消費生活・環境】                               | ・消費行動と意志決定の節で、消費行動と生活情報のワークでは、情報を整理し責任ある消費行動を行う重要性が理解できるよう工夫されている。                                                                                                                                        |
| 【ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動】                        | ・家庭内の課題を発見し、解決に向けて計画、実践、中間評価、再実践、評価、というPDSサイクルを通して生活の課題を解決する力が養われる方法を具体的に示すことで、実践的・体験的な学習が行えるよう工夫されている。                                                                                                   |
| 《その他の項目》（各教科共通）                              |                                                                                                                                                                                                           |
| 我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫   | ・衣食住の生活の自立と設計<br>「食文化を継承しよう」<br>「日本の古民家の知恵を受け継ごう」                                                                                                                                                         |
| 人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫              | ・人の一生と家族及び福祉<br>「恋人への暴力」<br>「増え続ける児童虐待とその実態」                                                                                                                                                              |
| 安全・防災や自然災害の扱い                                | ・衣食住の生活の自立と設計<br>「災害に備える」<br>・ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動<br>「今こそ本気で取り組もう！～西高防災対策プロジェクト～」                                                                                                                         |
| オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫                      | 記載なし                                                                                                                                                                                                      |
| 固定的な性別役割分担意識に関する記述等                          | ・人の一生と家族及び福祉<br>「性別役割分業意識の変化」                                                                                                                                                                             |
| (2) 構成上の工夫                                   |                                                                                                                                                                                                           |
| デジタルコンテンツの扱い                                 | ・動画や写真などのデジタルコンテンツを活用して効果的に学習できるよう二次元コードを掲載している。                                                                                                                                                          |
| ユニバーサルデザインの視点                                | ・色覚特性を有する生徒への配慮を含む、ユニバーサルデザインになっている。                                                                                                                                                                      |

|     |      |
|-----|------|
| 教科名 | 家庭   |
| 科目名 | 家庭基礎 |

|                                               |                                                                                                                                         |
|-----------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 発行者（略称）                                       | 教図                                                                                                                                      |
| 教科書番号                                         | 家基 006-903◆                                                                                                                             |
| 教科書名                                          | Survive!! 高等学校 家庭基礎 【改訂版】                                                                                                               |
| (1) 内容                                        |                                                                                                                                         |
| a 「単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）」 |                                                                                                                                         |
| 【人の一生と家族・家庭及び福祉】                              | ・青年期の自立と家族・家庭及び社会の節で、将来について考えるワークが設けられており、特に、仕事、住居、家庭生活の検討を通して生活の課題を解決する力が養われるよう工夫されている。                                                |
| 【衣食住の生活の自立と設計】                                | ・住生活と住環境の節で、災害を生き抜くためのワークが設けられており、特に、災害時の備えをしていない高校生に対するのアドバイスの検討や話し合いを通して生活の課題を解決する力が養われるよう工夫されている。                                    |
| 【持続可能な消費生活・環境】                                | ・消費行動と意思決定の節で、地球環境に与える影響を考えるワークが設けられており、特に、ライフスタイルや消費生活の観点から検討し話し合いを行うことで、生活の課題を解決する力が養われるよう工夫されている。                                    |
| 【ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動】                         | ・ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動の単元で、全国学校家庭クラブ研究発表大会の文部科学大臣賞受賞作品一覧が取り上げられている。具体的に示された学習の進め方を通して、生活上の課題を設定し、解決に向けて生活を科学的に探究したり創造したりすることができる構成となっている。 |
| b 実践的・体験的な学習活動                                |                                                                                                                                         |
| 【人の一生と家族・家庭及び福祉】                              | ・高齢期の生活と福祉の節で、充実した実習の項目が設けられており、特に、高齢期の介助に関する実習など自立生活の支援や介護について理解するとともに、生活支援に関する基礎的な技能実習を通して、実践的・体験的な学習が行われるよう工夫されている。                  |
| 【衣食住の生活の自立と設計】                                | ・食生活と健康の節で、充実した実験・実習の項目が設けられており、特に、プロの味に挑戦できる項目があるなど、おいしさの構成要素や食品の調理上の性質、食品衛生について理解し、目的に応じた調理に必要な技能を身に付けられるよう実践的・体験的な学習が行えるよう工夫されている。   |
| 【持続可能な消費生活・環境】                                | ・生活における経済の計画の節で、消費支出を見直す項目が設けられており、家計の構造や生活における経済と社会との関わり、家計管理について理解することのできる実践的・体験的な学習が行えるよう工夫されている。                                    |
| 【ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動】                         | ・家庭内の課題を発見し、解決に向けて計画、実践、中間評価、再実践、評価、というPDSサイクルを通して生活の課題を解決する力が養われる方法を具体的に示すことで、実践的・体験的な学習が行えるよう工夫されている。                                 |
| 《その他の項目》（各教科共通）                               |                                                                                                                                         |
| 我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫    | ・衣食住の生活の自立と設計<br>「和服の特徴」<br>「食文化をつくる」                                                                                                   |
| 人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫               | ・人の一生と家族及び福祉<br>「子供を取り巻く課題」<br>「家族問題と支える仕組み」                                                                                            |
| 安全・防災や自然災害の扱い                                 | ・衣食住の生活の自立と設計<br>「自然災害への対策」<br>「災害時に役立つ料理」                                                                                              |
| オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫                       | 記載なし                                                                                                                                    |
| 固定的な性別役割分担意識に関する記述等                           | ・人の一生と家族・家庭及び福祉<br>「家事労働」<br>「ワークライフバランス」                                                                                               |
| (2) 構成上の工夫                                    |                                                                                                                                         |
| デジタルコンテンツの扱い                                  | ・動画や音声などのデジタルコンテンツを活用して効果的に学習できるよう二次元コードを掲載している。                                                                                        |
| ユニバーサルデザインの視点                                 | ・色覚特性を有する生徒への配慮を含む、ユニバーサルデザインになっている。                                                                                                    |

|     |      |
|-----|------|
| 教科名 | 家庭   |
| 科目名 | 家庭基礎 |

|                                              |                                                                                                                         |
|----------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 発行者（略称）                                      | 実教                                                                                                                      |
| 教科書番号                                        | 家基007-901◆                                                                                                              |
| 教科書名                                         | 新家庭基礎 気づく力 築く未来                                                                                                         |
| (1) 内容                                       |                                                                                                                         |
| a「単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）」 |                                                                                                                         |
| 【人の一生と家族・家庭及び福祉】                             | ・共生社会と福祉の節で、ユニバーサルデザインを考えるワークがあり、家庭や地域及び社会の一員としての自覚をもって共に支え合って生活することの重要性について考察することを通して、生活の課題を改善する力が養われるよう工夫されている。       |
| 【衣食住の生活の自立と設計】                               | ・住生活と住環境の節で、快適な室内環境づくりについて考えるワークがあり、適切な住居の計画・管理に必要な技能を身に付けることができる活動を通して、生活の課題を改善する力が養われるよう工夫されている。                      |
| 【持続可能な消費生活・環境】                               | ・消費行動と意思決定の節で、資産形成について考えるワークが設けられており、特に、ライフイベントや生活リスクに備え、自分の資産を増やしていく方法について比較検討し、他者と意見交換することで生活の課題を改善する力が養われるよう工夫されている。 |
| 【ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動】                        | ・ホームプロジェクトと学校家庭クラブの単元で、実践例を踏まえた課題解決の方法が示されており、生活上の課題を設定し解決に向けて生活を科学的に探究したり、創造したりすることができるような構成になっている。                    |
| b 実践的・体験的な学習活動                               |                                                                                                                         |
| 【人の一生と家族・家庭及び福祉】                             | ・子供の生活と保育の節で、実習の項目が設けられており、特に、手袋シアターなど適切な住居の計画・管理に必要な技能を身に付けることができるような構成になっている。                                         |
| 【衣食住の生活の自立と設計】                               | ・衣生活と健康の節で、充実した実験・実習の項目が設けられており、特に、軍手を使った燃焼実験など被服の機能性や快適性について考察し、安全で健康や環境に配慮した被服の管理が、実践的・体験的に学べるよう工夫されている。              |
| 【持続可能な消費生活・環境】                               | ・消費行動と意思決定の節で、資産形成について考えるワークが設けられており、特に、自己分析や資産運用法の比較検討、協議を通して、実践的・体験的に学べるよう工夫されている。                                    |
| 【ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動】                        | ・ホームプロジェクトと学校家庭クラブの単元で、実践例を踏まえた課題解決の方法が示されており、生活上の課題を設定し解決に向けて実践的・体験的に学べるような構成になっている。                                   |
| 《その他の項目》（各教科共通）                              |                                                                                                                         |
| 我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫   | ・衣食住の生活の自立と設計<br>「日本の食文化」<br>「浴衣をひとりで着てみよう」<br>「住まいの文化」                                                                 |
| 人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫              | ・人の一生と家族及び福祉<br>「親子関係の課題」                                                                                               |
| 安全・防災や自然災害の扱い                                | ・衣食住の生活の自立と設計<br>「自然災害と人為的な災害」<br>「防災・減災に取り組む」                                                                          |
| オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫                      | ・一生と家族・家庭及び福祉<br>「ユニバーサル・デザイン」                                                                                          |
| 固定的な性別役割分担意識に関する記述等                          | ・人の一生と家族・家庭及び福祉<br>「固定的な性別役割分業をこえて」                                                                                     |
| (2) 構成上の工夫                                   |                                                                                                                         |
| デジタルコンテンツの扱い                                 | ・音声や動画、シミュレーションなどのデジタルコンテンツを活用して効果的に学習できるよう二次元コードを掲載している。                                                               |
| ユニバーサルデザインの視点                                | ・色覚特性を有する生徒への配慮を含む、ユニバーサルデザインになっている。                                                                                    |

|     |      |
|-----|------|
| 教科名 | 家庭   |
| 科目名 | 家庭基礎 |

|                                               |                                            |                                                                                                                                       |
|-----------------------------------------------|--------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 発行者（略称）                                       |                                            | 実教                                                                                                                                    |
| 教科書番号                                         |                                            | 家基007-902◆                                                                                                                            |
| 教科書名                                          |                                            | 新Agenda家庭基礎                                                                                                                           |
| (1) 内容                                        |                                            |                                                                                                                                       |
| a 「単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）」 |                                            |                                                                                                                                       |
|                                               | 【人の一生と家族・家庭及び福祉】                           | ・青年期の自立と家族・家庭の節で、多様な人々を想像した避難所の運営を考えてみようというワークが設けられており、避難所の運営について検討し、家庭や地域のよりよい生活を創造することの重要性について考察することを通して、生活の課題を解決する力が養われるよう工夫されている。 |
|                                               | 【衣食住の生活の自立と設計】                             | ・住生活と住環境の節で、多様な世帯・世代間交流を住まい方から考えるワークが設けられており、特に、現代の世帯・世代の抱える課題を見付け、住居と地域社会との関わりについての考察を通して生活の課題を解決する力が養われるように工夫されている。                 |
|                                               | 【持続可能な消費生活・環境】                             | ・持続可能なライフスタイルと環境の節で、資産形成シュミレーター等を用いたワークワークが設けられており、投資計画を立て、ライフスタイルを工夫するための考察を通して、生活の課題を解決する力が養われるように工夫されている。                          |
|                                               | 【ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動】                      | ホームプロジェクトと学校家庭クラブの単元で、実践例を踏まえた課題解決の方法が示されており、生活上の課題を設定し、例示された評価基準のルーブリック等を活用し、解決に向けて生活を科学的に探究したり、創造したりすることができるような構成になっている。            |
| b 実践的・体験的な学習活動                                |                                            |                                                                                                                                       |
|                                               | 【人の一生と家族・家庭及び福祉】                           | ・青年期の自立と家族・家庭の節で、多様な人々を想像した避難所の運営を考えてみようというワークワークが設けられており、避難所デザインを検討し、家庭や地域のよりよい生活を創造することの重要性について考察することを通して、実践的・体験的な学習が行えるよう工夫されている。  |
|                                               | 【衣食住の生活の自立と設計】                             | ・食生活と健康の節で、充実した実験・実習の項目が設けられており、特に、保存食の利用等災害時の備蓄の日常への活用という実生活に生かしやすい実践的・体験的な活動が行えるよう工夫されている。                                          |
|                                               | 【持続可能な消費生活・環境】                             | ・持続可能なライフスタイルと環境の節で、資産形成シュミレーター等を用いた投資計画を実際に立てることができるなど 持続可能な社会を目指して主体的に行動できるよう、安全で安心な生活と消費について考察し、ライフスタイルを工夫することができるよう工夫されている。       |
|                                               | 【ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動】                      | ・ホームプロジェクトと学校家庭クラブの単元で、実践例を踏まえた課題解決の方法が示されており、生活上の課題を設定し解決に向けて実践的・体験的に学べるような構成になっている。                                                 |
| 《その他の項目》（各教科共通）                               |                                            |                                                                                                                                       |
|                                               | 我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫 | ・衣食住の生活の自立と設計<br>「和食文化」<br>「伝統的な住まい・まちの工夫」                                                                                            |
|                                               | 人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫            | ・人の一生と家族及び福祉<br>「多様性の尊重と自立」<br>「さまざまな暴力と対等な関係性を考える」<br>「児童虐待防止のために」<br>「共生社会の実現に向けて」                                                  |
|                                               | 安全・防災や自然災害の扱い                              | ・衣食住の生活の自立と設計<br>「様々な人々を想像した避難所の運営を考えてみよう」<br>「災害時の食の備え」<br>「安全・安心のための取り組み」<br>・ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動<br>「エネルギー量に合った非常食を考える」            |
|                                               | オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫                    | 記載なし                                                                                                                                  |
|                                               | 固定的な性別役割分担意識に関する記述等                        | ・人の一生と家族・家庭及び福祉<br>「だれもが自分らしく生きられる社会に」<br>「日本の子育てが抱える問題」                                                                              |
| (2) 構成上の工夫                                    |                                            |                                                                                                                                       |
|                                               | デジタルコンテンツの扱い                               | ・音声や動画、シュミレーションなどのデジタルコンテンツを活用して効果的に学習できるよう二次元コードを掲載している。                                                                             |
|                                               | ユニバーサルデザインの視点                              | ・色覚特性を有する生徒への配慮を含む、ユニバーサルデザインになっている。                                                                                                  |

|     |      |
|-----|------|
| 教科名 | 家庭   |
| 科目名 | 家庭基礎 |

|                                               |                                            |                                                                                                                                                                                      |
|-----------------------------------------------|--------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 発行者（略称）                                       |                                            | 実教                                                                                                                                                                                   |
| 教科書番号                                         |                                            | 家基007-903◆                                                                                                                                                                           |
| 教科書名                                          |                                            | 新図説家庭基礎                                                                                                                                                                              |
| (1) 内容                                        |                                            |                                                                                                                                                                                      |
| a 「単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）」 |                                            |                                                                                                                                                                                      |
|                                               | 【人の一生と家族・家庭及び福祉】                           | ・子供の生活と保育の節で、子どもと関わる際の場面設定がされており、その中での課題と改善点を考察するワークが設けられている。特に、共働き夫婦の子育てにおける課題と改善点を考察することを通して、子供を生み育てることの意義について考えるとともに、子供の健やかな発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性について考察することができるような構成になっている。 |
|                                               | 【衣食住の生活の自立と設計】                             | ・衣生活と健康の節で、衣生活での社会問題について考察するワークが設けられており、特に、ファストファッションにおける問題点の把握と改善や対策などの考察を通して、被服の機能性や快適性について考察し、安全で健康や環境に配慮した被服の管理や目的に応じた着装を工夫することができるような構成になっている。                                  |
|                                               | 【持続可能な消費生活・環境】                             | ・生活における経済の計画の節で、経済の視点から生活設計を考えるワークが設けられており、特に、リスクやアクシデントについて考察した上で、それに対する備えについて考察することを通して、生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性について、ライフステージや社会保障制度などと関連付けて考察することができるような構成になっている。                 |
|                                               | 【ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動】                      | ・ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動の単元で、実践例を取り上げている。具体的に示された学習の進め方や他の実践例を参考に、生活上の課題を設定し、解決に向けて生活を科学的に探究したり、創造したりすることができるような構成になっている。                                                                |
| b 実践的・体験的な学習活動                                |                                            |                                                                                                                                                                                      |
|                                               | 【人の一生と家族・家庭及び福祉】                           | ・子供の生活と保育の節で、充実した実習・制作の項目が設けられており、特に、子どもとの触れ合い方や子どものおもちゃ作りなど、乳幼児期の心身の発達と生活、親の役割と保育、子供を取り巻く社会環境、子育て支援について理解するとともに、乳幼児と適切に関わるための基礎的な技能を身に付けることを通して実践的・体験的な学習が行えるよう工夫されている。             |
|                                               | 【衣食住の生活の自立と設計】                             | ・食生活と健康の節で、充実した実験・実習の項目が設けられており、特に、食品ロスを考えたクリエイティブ・クッキングなど、調理の性質上、食文化の継承を考慮した献立作成や調理計画、健康や環境に配慮した食生活についての考察を通して実践的・体験的な学習が行えるよう工夫されている。                                              |
|                                               | 【持続可能な消費生活・環境】                             | ・生活における経済の計画の節で、自分の未来をお金の観点から考えるワークが設けられており、進学費用や年収、金融商品の比較検討やリスクへの備えなど、実践的・体験的な学習が行えるよう工夫されている。                                                                                     |
|                                               | 【ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動】                      | ・ホームプロジェクトと学校家庭クラブの単元で、実践例を踏まえた課題解決の方法が示されており、生活上の課題を設定し解決に向けて実践的・体験的に学べるような構成になっている。                                                                                                |
| 《その他の項目》（各教科共通）                               |                                            |                                                                                                                                                                                      |
|                                               | 我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫 | ・衣食住の生活の自立と設計<br>「和食とは日本人の伝統的な食文化―」<br>「和服を楽しもう」<br>「和の暮らしと住文化」                                                                                                                      |
|                                               | 人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫            | ・人の一生と家族及び福祉<br>「現代の家族の課題と支援」<br>「児童虐待」                                                                                                                                              |
|                                               | 安全・防災や自然災害の扱い                              | ・衣食住の生活の自立と設計<br>「安全な住まい」<br>「防災・減災について考えよう」                                                                                                                                         |
|                                               | オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫                    | 記載なし                                                                                                                                                                                 |
|                                               | 固定的な性別役割分担意識に関する記述等                        | ・人の一生と家族・家庭及び福祉<br>「生活時間配分の比較」<br>「固定的性別役割分業をこえて」                                                                                                                                    |
| (2) 構成上の工夫                                    |                                            |                                                                                                                                                                                      |
|                                               | デジタルコンテンツの扱い                               | ・動画やシミュレーションアプリ、外部リンク、PDF資料などのデジタルコンテンツを活用して効果的に学習できるよう二次元コードを掲載している。                                                                                                                |
|                                               | ユニバーサルデザインの視点                              | ・見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントが採用されている。<br>・色覚特性を有する生徒への配慮を含む、ユニバーサルデザインになっている。                                                                                                         |

|     |      |
|-----|------|
| 教科名 | 家庭   |
| 科目名 | 家庭基礎 |

|                                              |                                                                                                                                                                                  |               |
|----------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|
| 発行者（略称）                                      |                                                                                                                                                                                  | 開隆堂           |
| 教科書番号                                        |                                                                                                                                                                                  | 家基009-901     |
| 教科書名                                         |                                                                                                                                                                                  | 家庭基礎 明日の生活を築く |
| (1) 内容                                       |                                                                                                                                                                                  |               |
| a「単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）」 |                                                                                                                                                                                  |               |
| 【人の一生と家族・家庭及び福祉】                             | ・子供の生活と保育の節で、社会の課題と改善点を考察するワークが設けられており、特に、夫婦の家事育児関連時間におけるデータ分析と課題把握を通して、子供を生み育てることの意義について考えるとともに、子供の健やかな発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性について考察することができるような構成になっている。                    |               |
| 【衣食住の生活の自立と設計】                               | ・住生活と住環境の節で、住生活上の課題と改善点を考察するワークが設けられており、特に、室内危険度チェックにおける問題点の把握と改善や対策などの考察を通して、住居の機能性や快適性、住居と地域社会との関わりについて考察し、防災などの安全や環境に配慮した住生活や住環境を工夫することができるような構成になっている。                       |               |
| 【持続可能な消費生活・環境】                               | ・消費行動と意思決定の節で、巻末に家庭基礎の学習を振り返って横断的に生活設計を行うワークが設定されている。自己分析や将来構想、生活リスクに対する備えについての検討や話し合いを通して生活の課題を解決する力を養えるよう工夫されている。                                                              |               |
| 【ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動】                        | ・ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動の単元で、実践例を取り上げている。具体的に示された学習の進め方や他の実践例を参考に、生活上の課題を設定し、解決に向けて生活を科学的に探究したり、創造したりすることができるような構成になっている。                                                            |               |
| b実践的・体験的な学習活動                                |                                                                                                                                                                                  |               |
| 【人の一生と家族・家庭及び福祉】                             | ・子供の生活と保育の節で、充実した実習の項目が設けられており、特に、幼児と交流をする際に注目する視点の例や保育に関わる人へのインタビュー例など、乳幼児期の心身の発達と生活、親の役割と保育、子供を取り巻く社会環境、子育て支援について理解するとともに、乳幼児と適切に関わるための基礎的な技能を身に付けることを通して資質・能力が育成されるよう工夫されている。 |               |
| 【衣食住の生活の自立と設計】                               | ・食生活と健康の節で、充実した実験・実習の項目が設けられており、特に、たんぱく質の性質を確認する実習など、調理の性質上、食文化の継承を考慮した献立作成や調理計画、健康や環境に配慮した食生活についての考察を通して資質・能力が育成されるよう工夫されている。                                                   |               |
| 【持続可能な消費生活・環境】                               | ・消費行動と意思決定の節で、生活設計を行うワークが設定されており、ライフステージごとの生活リスクに対する備えや出産・教育・介護の費用についての検討や話し合いを通して、実践的・体験的な学習活動が行えるよう工夫されている。                                                                    |               |
| 【ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動】                        | ・ホームプロジェクトと学校家庭クラブの単元で、実践例を踏まえた課題解決の方法が示されており、生活上の課題を設定し解決に向けて実践的・体験的に学べるような構成になっている。                                                                                            |               |
| 《その他の項目》（各教科共通）                              |                                                                                                                                                                                  |               |
| 我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫   | ・衣食住の生活の自立と設計<br>「日本と世界の食文化」<br>「日本の衣文化」<br>「日本の住まいのうつり変わり」                                                                                                                      |               |
| 人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫              | ・人の一生と家族及び福祉<br>「多様な性」<br>「家族の問題には家族以外の力を借りる」<br>「ダイバーシティ＆インクルージョンな社会」<br>「考えてみよう 子ども虐待」                                                                                         |               |
| 安全・防災や自然災害の扱い                                | ・衣食住の生活の自立と設計<br>「災害に備えた日本の住まい方の工夫」<br>「地震に備えた住まい」<br>「ハザードマップを活用しよう」<br>「応急時・復旧時・復興時の住生活や住宅」<br>・ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動<br>「わが町の防災対策～災害時の避難所での生活を考える～」                             |               |
| オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫                      | 記載なし                                                                                                                                                                             |               |
| 固定的な性別役割分担意識に関する記述等                          | ・人の一生と家族・家庭及び福祉<br>「誰もが自分らしく生きられる社会に」<br>「働き方・ジェンダーと賃金」<br>「工業社会を支える性別役割分業意識」                                                                                                    |               |
| (2) 構成上の工夫                                   |                                                                                                                                                                                  |               |
| デジタルコンテンツの扱い                                 | ・動画やシミュレーションアプリ、外部リンク、PDF資料などのデジタルコンテンツを活用して効果的に学習できるよう二次元コードを掲載している。                                                                                                            |               |
| ユニバーサルデザインの視点                                | ・見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントが採用されている。<br>・色覚特性を有する生徒への配慮を含む、ユニバーサルデザインになっている。                                                                                                     |               |

|     |      |
|-----|------|
| 教科名 | 家庭   |
| 科目名 | 家庭基礎 |

|                                               |                                                                                                                                                                       |
|-----------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 発行者（略称）                                       | 大修館                                                                                                                                                                   |
| 教科書番号                                         | 家基050-901                                                                                                                                                             |
| 教科書名                                          | CreativeLiving 『家庭基礎』で生活をつくろう 改訂版                                                                                                                                     |
| (1) 内容                                        |                                                                                                                                                                       |
| a 「単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）」 |                                                                                                                                                                       |
| 【人の一生と家族・家庭及び福祉】                              | ・青年期の自立と家族・家庭、子供の生活と保育、高齢期の生活と福祉の節の章末において、生活上の新たな課題を発見し解決するワークが設けられている。章ごとに内容を振り返り生活を見直すことによってホームプロジェクトの学習に結び付けるような構成になっている。                                          |
| 【衣食住の生活の自立と設計】                                | ・食生活と健康、衣生活と健康、住生活と住環境の節の章末において、生活上の新たな課題を発見し解決するワークが設けられている。章ごとに内容を振り返り生活を見直すことによってホームプロジェクトの学習に結び付けるような構成になっている。                                                    |
| 【持続可能な消費生活・環境】                                | ・生活における経済の計画、消費行動と意思決定、持続可能なライフスタイルと環境の節の章末において、生活上の新たな課題を発見し解決するワークが設けられている。章ごとに内容を振り返り生活を見直すことによって課題解決型の学習に結び付けるような構成になっている。                                        |
| 【ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動】                         | ・ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動の単元で、実践例を取り上げている。具体的に示された学習の進め方や他の実践例を参考に、生活上の課題を設定し、解決に向けて生活を科学的に探究したり、創造したりすることができるような構成になっている。                                                 |
| b 実践的・体験的な学習活動                                |                                                                                                                                                                       |
| 【人の一生と家族・家庭及び福祉】                              | ・子供の生活と保育の節で、充実した実習・制作の項目が設けられており、特に、子どもとの触れ合い方や子どものおもちゃ作りなど、乳幼児期の心身の発達と生活、親の役割と保育、子供を取り巻く社会環境、子育て支援について理解するとともに、乳幼児と適切に関わるための基礎的な技能を身に付けることを通して資質・能力が育成されるよう工夫されている。 |
| 【衣食住の生活の自立と設計】                                | ・食生活と健康の節で、充実した実験・実習の項目が設けられており、特に、卵の希釈性による変化確認の実習など、調理の性質上、食文化の継承を考慮した献立作成や調理計画、健康や環境に配慮した食生活についての考察を通して資質・能力が育成されるよう工夫されている。                                        |
| 【持続可能な消費生活・環境】                                | ・生活における経済の計画、消費行動と意思決定、持続可能なライフスタイルと環境の節の章末において、生活上の新たな課題を発見し解決するワークが設けられている。章ごとに内容を振り返り生活を見直すことによって実践的・体験的な学習が行えるよう工夫されている。                                          |
| 【ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動】                         | ・ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動の単元で、実践例を取り上げ、実践的・体験的な学習が行えるよう工夫されている。                                                                                                            |
| 《その他の項目》（各教科共通）                               |                                                                                                                                                                       |
| 我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫    | ・衣食住の生活の自立と設計<br>「生活文化を継ぐ・つくる 食生活」<br>「生活文化を継ぐ・つくる 衣生活」<br>「日本の住文化を知ろう」<br>「生活文化を継ぐ・つくる 住生活」                                                                          |
| 人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫               | ・人の一生と家族及び福祉<br>「性の多様性」<br>「家族に今、起こっている問題」<br>「家族問題解決のための公的機関・民間団体と関連する法律」                                                                                            |
| 安全・防災や自然災害の扱い                                 | ・衣食住の生活の自立と設計<br>「安全に安心して暮らす」<br>「災害への備えと心がまえ」                                                                                                                        |
| オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫                       | 記載なし                                                                                                                                                                  |
| 固定的な性別役割分担意識に関する記述等                           | ・人の一生と家族・家庭及び福祉<br>「性別役割分業を見直す」                                                                                                                                       |
| (2) 構成上の工夫                                    |                                                                                                                                                                       |
| デジタルコンテンツの扱い                                  | ・動画やシミュレーションアプリ、外部リンク、PDF資料などのデジタルコンテンツを活用して効果的に学習できるよう二次元コードを掲載している。                                                                                                 |
| ユニバーサルデザインの視点                                 | ・色覚特性を有する生徒への配慮を含む、ユニバーサルデザインになっている。                                                                                                                                  |

|     |      |
|-----|------|
| 教科名 | 家庭   |
| 科目名 | 家庭基礎 |

|                                               |                                                                                                                                                          |
|-----------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 発行者（略称）                                       | 大修館                                                                                                                                                      |
| 教科書番号                                         | 家基050－902                                                                                                                                                |
| 教科書名                                          | New Creative Living『家庭基礎』で生活をつくろう                                                                                                                        |
| (1) 内容                                        |                                                                                                                                                          |
| a 「単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）」 |                                                                                                                                                          |
| 【人の一生と家族・家庭及び福祉】                              | ・ 青年期の自立と家族・家庭及び社会の節で、章末に家族・家庭生活のマネジメントを行い、解決方法を模索するワークが設けられており、特に、理想とするライフプランに向けた課題把握を通して生活の課題を解決する力が養われるよう工夫されている。                                     |
| 【衣食住の生活の自立と設計】                                | ・ 食生活と健康の節で、章末に食生活のマネジメントを行い、解決方法を模索するワークが設けられており、特に、理想とする食生活に向けた課題把握を通して生活の課題を解決する力が養われるよう工夫されている。                                                      |
| 【持続可能な消費生活・環境】                                | ・ 生活における経済の計画の節で、章末に経済のマネジメントを行い、解決方法を模索するワークが設けられており、特に、理想とする経済計画に向けた課題把握を通して生活の課題を解決する力が養われるよう工夫されている。                                                 |
| 【ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動】                         | ・ ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動の単元で、子育て支援ガイドブック作成の資料の提案を取り上げている。課題解決に向けフローチャートを用いたり、各項目毎詳細な解説を設けたりすることを通して、生活上の課題を設定し、解決に向けて生活を科学的に探究したり、創造したりすることができるような構成になっている。 |
| b 実践的・体験的な学習活動                                |                                                                                                                                                          |
| 【人の一生と家族・家庭及び福祉】                              | ・ 高齢期の生活と福祉の節で、充実した実験・実習の項目が設けられており、特に、高齢者の介助等の体験などで、生活支援に関する基礎的な技能を通して実践的・体験的な学習が行えるよう工夫されている。                                                          |
| 【衣食住の生活の自立と設計】                                | ・ 食生活と健康の節で、充実した実験・実習の項目が設けられており、特に、日常食の献立を考える実習など、食文化の継承を考慮した献立作成や調理計画、健康や環境に配慮した食生活を通して実践的・体験的な学習が行えるよう工夫されている。                                        |
| 【持続可能な消費生活・環境】                                | ・ 消費行動と意思決定の節で、充実した実験・実習の項目が設けられており、特に、情報を使いこなすワークなど生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性を通して実践的・体験的な学習が行えるよう工夫されている。                                                |
| 【ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動】                         | ・ ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動の単元で、実践例を取り上げ、実践的・体験的な学習が行えるよう工夫されている。                                                                                              |
| 《その他の項目》（各教科共通）                               |                                                                                                                                                          |
| 我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫    | ・ 衣食住の生活の自立と設計<br>「生活文化を継ぐ・つくる 食生活」<br>「生活文化を継ぐ・つくる 衣生活」<br>「日本の住文化を知ろう」<br>「生活文化を継ぐ・つくる 住生活」                                                            |
| 人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫               | ・ 人の一生と家族及び福祉<br>「性の多様性」<br>「家族に今、起こっている問題」<br>「子どもの人権は守られているか？」                                                                                         |
| 安全・防災や自然災害の扱い                                 | ・ 衣食住の生活の自立と設計<br>「安全に安心して暮らす」<br>「災害への備えと心がまえ」                                                                                                          |
| オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫                       | 記載なし                                                                                                                                                     |
| 固定的な性別役割分担意識に関する記述等                           | ・ 人の一生と家族・家庭及び福祉<br>「多様な生き方が選べる社会へ」                                                                                                                      |
| (2) 構成上の工夫                                    |                                                                                                                                                          |
| デジタルコンテンツの扱い                                  | ・ 音声や動画などのデジタルコンテンツを活用して効果的に学習できるよう二次元コードを掲載している。                                                                                                        |
| ユニバーサルデザインの視点                                 | ・ 色覚特性を有する生徒への配慮を含む、ユニバーサルデザインになっている。                                                                                                                    |

|     |      |
|-----|------|
| 教科名 | 家庭   |
| 科目名 | 家庭基礎 |

|                                               |                                                                                                                                                         |
|-----------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 発行者（略称）                                       | 大修館                                                                                                                                                     |
| 教科書番号                                         | 家基050－903                                                                                                                                               |
| 教科書名                                          | 家庭基礎 生活をともにつくる                                                                                                                                          |
| (1) 内容                                        |                                                                                                                                                         |
| a 「単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）」 |                                                                                                                                                         |
| 【人の一生と家族・家庭及び福祉】                              | ・青年期の自立と家族・家庭及び社会の節で、章末に家族・家庭生活のマネジメントを行い、解決方法を模索するワークが設けられており、特に、理想とするライフプランに向けた課題把握を通して、生活の課題を解決する力が養われるよう工夫されている。                                    |
| 【衣食住の生活の自立と設計】                                | ・衣生活と健康の節で、被服計画・衣生活のPDCAサイクルの例が設けられており、特に、被服計画を見直すことで、持続可能な衣生活を創造できるよう工夫されている。                                                                          |
| 【持続可能な消費生活・環境】                                | ・生活における経済の計画の節で、章末に経済のマネジメントを行い、解決方法を模索するワークが設けられており、特に、生涯を見通した経済計画に向けた課題把握を通して生活の課題を解決する力が養われるよう工夫されている。                                               |
| 【ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動】                         | ・ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動の単元で、子育て支援ガイドブック作成の資料の提案を取り上げている。課題解決に向けフローチャートを用いたり、各項目毎詳細な解説を設けたりすることを通して、生活上の課題を設定し、解決に向けて生活を科学的に探究したり、創造したりすることができるような構成になっている。 |
| b 実践的・体験的な学習活動                                |                                                                                                                                                         |
| 【人の一生と家族・家庭及び福祉】                              | ・子供の生活と保育の節で、充実した実験・実習の項目が設けられており、特に、子どもと触れ合う体験などで、乳幼児と関わるための基礎的な技能を通して実践的・体験的な学習が行えるよう工夫されている。                                                         |
| 【衣食住の生活の自立と設計】                                | ・食生活と健康の節で、充実した実験・実習の項目が設けられており、特に、弁当の実習など、食文化の継承を考慮した献立作成や調理計画、健康や環境に配慮した食生活を通して実践的・体験的な学習が行えるよう工夫されている。                                               |
| 【持続可能な消費生活・環境】                                | ・消費行動と意思決定の節で、充実した実験・実習の項目が設けられており、特に、情報を使いこなすワークなど生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性を通して実践的・体験的な学習が行えるよう工夫されている。                                                |
| 【ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動】                         | ・ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動の単元で、実践例を取り上げ、実践的・体験的な学習が行えるよう工夫されている。                                                                                              |
| 《その他の項目》（各教科共通）                               |                                                                                                                                                         |
| 我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫    | ・衣食住の生活の自立と設計<br>「日本の住文化と継承」                                                                                                                            |
| 人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫               | ・人の一生と家族及び福祉<br>「多様な性」<br>「家族の問題には家族以外の力を借りる」<br>「子どもの人権」<br>「「多様性」を合いことばに」                                                                             |
| 安全・防災や自然災害の扱い                                 | ・衣食住の生活の自立と設計<br>「安全に配慮した住生活」<br>「災害への備えと心がまえ」                                                                                                          |
| オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫                       | 記載なし                                                                                                                                                    |
| 固定的な性別役割分担意識に関する記述等                           | ・人の一生と家族・家庭及び福祉<br>「多様な生き方が選べる社会へ」                                                                                                                      |
| (2) 構成上の工夫                                    |                                                                                                                                                         |
| デジタルコンテンツの扱い                                  | ・音声や動画などのデジタルコンテンツを活用して効果的に学習できるよう二次元コードを掲載している。                                                                                                        |
| ユニバーサルデザインの視点                                 | ・色覚特性を有する生徒への配慮を含む、ユニバーサルデザインになっている。                                                                                                                    |

|     |      |
|-----|------|
| 教科名 | 家庭   |
| 科目名 | 家庭基礎 |

|                                              |                                                                                                                                                |
|----------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 発行者（略称）                                      | 第一                                                                                                                                             |
| 教科書番号                                        | 家基183－901                                                                                                                                      |
| 教科書名                                         | 高等学校 改訂版 家庭基礎 持続可能な未来をつくる                                                                                                                      |
| (1) 内容                                       |                                                                                                                                                |
| a「単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）」 |                                                                                                                                                |
| 【人の一生と家族・家庭及び福祉】                             | ・青年期の自立と家族・家庭及び社会の節で、子育てに対するインタビューや発表のワークが設けられており、特に、子育て経験者より実体験を聞くことで家庭生活の課題を解決する力が養われるよう工夫されている。                                             |
| 【衣食住の生活の自立と設計】                               | ・衣生活と健康の節で、衣生活を取り巻く課題についての項目が設けられており、特に、自分の衣生活と世界のつながりを考えることを通して衣生活と被服を取り巻く課題の検討や、他者との意見交換を通して、生活の課題を解決する力が身に付くような構成になっている。                    |
| 【持続可能な消費生活・環境】                               | ・生活における経済の計画の節で、章末に自立した消費者として質実商法に向き合う解決方法を模索するワークを取り上げている。望ましい消費行動となるように、具体例を用いながら予防策や注意喚起の方法を考えることで、リスクを想定し、不測の事態に備えた対応について検討できるような構成になっている。 |
| 【ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動】                        | ・ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動の単元で、刺し子をヒントにして衣服を長く生かす工夫についてを取り上げている。家族へのインタビューの方法等を詳細に解説することを通して、生活上の課題を設定し、解決に向けて生活を科学的に探究したり、創造したりすることができるような構成になっている。 |
| b 実践的・体験的な学習活動                               |                                                                                                                                                |
| 【人の一生と家族・家庭及び福祉】                             | ・高齢期の生活と福祉の節で、充実した実験・実習の項目が設けられており、特に、高齢者の介助等の体験などで、生活支援に関する基礎的な技能を通して実践的・体験的な学習が行えるよう工夫されている。                                                 |
| 【衣食住の生活の自立と設計】                               | ・食生活と健康の節で、充実した実験・実習の項目が設けられている。特に、食塩濃度を確認したり、ビタミンCを検出したりする実験等を通して、食品の調理上の性質を考慮した献立作成や調理計画、健康や環境に配慮した実践的・体験的な学習が行えるよう工夫されている。                  |
| 【持続可能な消費生活・環境】                               | ・衣生活と健康の節で、リメイクの実習の項目が設けられており、持続可能な社会の構築などの視点から、よりよい衣生活の創造について考え、工夫することを通して実践的・体験的な学習が行えるよう工夫されている。                                            |
| 【ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動】                        | ・章末ごとの「ホームプロジェクト」を通して、家庭科で学んだことを自分の生活に照らして実践的・体験的な学習が行えるよう工夫されている。                                                                             |
| 《その他の項目》（各教科共通）                              |                                                                                                                                                |
| 我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫   | ・衣食住の生活の自立と設計<br>「食生活の文化」<br>「食文化を通じて外国の人と交流しよう」<br>「衣文化の継承と創造」<br>「住文化の継承と創造」                                                                 |
| 人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫              | ・人の一生と家族及び福祉<br>「多様な家族を支える」<br>「子どもと人権」<br>「人の多様性と社会参加」                                                                                        |
| 安全・防災や自然災害の扱い                                | ・共生社会と福祉<br>「ともに暮らす地域、ともに生きる社会～共生社会を描こう～」<br>・衣食住の生活の自立と設計<br>「自然災害と住まい」<br>「減災・防災ハンドブック」                                                      |
| オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫                      | 記載なし                                                                                                                                           |
| 固定的な性別役割分担意識に関する記述等                          | ・人の一生と家族・家庭及び福祉<br>「いろいろな働き方」<br>「ワーク・ライフ・バランス」<br>「私たちにひそむ『アンコンシャス・バイアス』に気づこう」                                                                |
| (2) 構成上の工夫                                   |                                                                                                                                                |
| デジタルコンテンツの扱い                                 | ・音声や動画、文章資料などのデジタルコンテンツを活用して効果的に学習できるよう二次元コードを掲載している。                                                                                          |
| ユニバーサルデザインの視点                                | ・見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントが採用されている。                                                                                                           |

|     |      |
|-----|------|
| 教科名 | 家庭   |
| 科目名 | 家庭基礎 |

|                                              |                                                                                                                                                    |
|----------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 発行者（略称）                                      | 第一                                                                                                                                                 |
| 教科書番号                                        | 家基710                                                                                                                                              |
| 教科書名                                         | 高等学校 家庭基礎 持続可能な未来をつくる                                                                                                                              |
| (1) 内容                                       |                                                                                                                                                    |
| a「単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）」 |                                                                                                                                                    |
| 【人の一生と家族・家庭及び福祉】                             | ・青年期の自立と家族・家庭及び社会の節で、人生100年を1日にたとえて協議するワークが設けられており、自己の時間の使い方について他者と意見交換することにより、生活の課題を解決する力が養われるよう工夫されている。                                          |
| 【衣食住の生活の自立と設計】                               | ・食生活と健康の節で、食料自給率を高めるための取組を考え、協議するワークが設けられており、具体的な検討を通して食生活の現状を様々な角度から考察することにより、生活の課題を解決する力が養われるよう工夫されている。                                          |
| 【持続可能な消費生活・環境】                               | ・消費行動と意思決定の節で、生活設計でプランニングした個別の人生構想に基づき、必要な費用を検討し協議するワークが設けられており、教育費や年金等、資料に基づいた考察を行い他者との意見交換で考えを深めることにより、生活の課題を解決する力が養われるよう工夫されている。                |
| 【ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動】                        | ・ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動の単元で、文部科学大臣賞を受賞した実践例が紹介されており、題目設定、実施計画、実施状況、評価と今後の課題といった具体的なまとめ方を学ぶことで、生活上の課題を設定し、解決に向けて生活を科学的に探究したり、創造したりすることができるような構成になっている。 |
| b 実践的・体験的な学習活動                               |                                                                                                                                                    |
| 【人の一生と家族・家庭及び福祉】                             | ・子供の生活と保育の節で、子供との関わり方を学ぶ題材が設定されており、特に、触れ合い体験の具体的な準備・実施時の留意点・体験後のまとめ方を示すことで、実践的・体験的な学習が行えるよう工夫されている。                                                |
| 【衣食住の生活の自立と設計】                               | ・住生活と健康の節で、一人暮らしをする際の希望を検討し、意見交換するワークが設けられており、自己の関心を深めながら適切な住環境を選択することを通して、実践的・体験的な学習が行えるよう工夫されている。                                                |
| 【持続可能な消費生活・環境】                               | ・消費行動と意思決定の節で、悪質商法のロールプレイングが設けられており、悪質商法の販売方法・手口を踏まえ、被害を防ぐための手立ての検討や意見交換で考えを深めることを通して、実践的・体験的な学習が行えるよう工夫されている。                                     |
| 【ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動】                        | ・ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動の単元で、各章末に「ホームプロジェクト」項目が設けられており、テーマ探しに役立てホームプロジェクトに取り組むことで、実践的・体験的な学習が行えるよう工夫されている。                                             |
| 《その他の項目》（各教科共通）                              |                                                                                                                                                    |
| 我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫   | ・衣食住の生活の自立と設計<br>「食文化を通じて外国の人と交流しよう」<br>「衣文化の継承と創造」<br>「和室のよさを外国の人に紹介しよう」                                                                          |
| 人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫              | ・人の一生と家族及び福祉<br>「子どもと人権」<br>「人の多様性と社会参加」                                                                                                           |
| 安全・防災や自然災害の扱い                                | ・衣食住の生活の自立と設計<br>「自然災害と住まい」<br>「減災・防災ハンドブック」<br>・ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動<br>「災害食づくりに挑戦しよう」<br>「菊池家 災害対策本部～四姉弟で災害を切り抜けろ！」                               |
| オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫                      | 記載なし                                                                                                                                               |
| 固定的な性別役割分担意識に関する記述等                          | ・人の一生と家族・家庭及び福祉<br>「働くこととジェンダー」                                                                                                                    |
| (2) 構成上の工夫                                   |                                                                                                                                                    |
| デジタルコンテンツの扱い                                 | ・動画などのデジタルコンテンツを活用して効果的に学習できるよう二次元コードを掲載している。                                                                                                      |
| ユニバーサルデザインの視点                                | ・色覚特性を有する生徒への配慮を含む、ユニバーサルデザインになっている。                                                                                                               |